

# 気候変動・気候危機に関心を



## Glasgow Declaration

### もっと身近なカーボンゼロ対策

きらきらニュース読者から「もっと身近な気候対策を教えて」という意見が寄せられたので、前回に引き続き、気候危機回避のために私たちができる「カーボンゼロ」を考えます。

#### 消費者として賢い選択を「地産地消」と「再利用」

前回ニュースでも指摘しましたが、温暖化ガスの1/4は運輸部門の排出です。「遠い地域で作られた物は購入しない」ことが大事になります。お米も野菜も魚も肉も、できる限り産地を確認して近い産地のものを消費しましょう。ただし「放射能」が怖い人は異なる選択もあります。

もう一つ大事な消費行動が「再利用」。リサイクル・リユースという考え方です。「幼稚園から高校」の制服古着店として有名な「さくらや仙台店」(仙台市太白区中田町、022-242-1551)。古着に限らずリサイクル商品を広く扱うのが、全国チェーンの「ブックオフ」や「セカンドストリート」。楽器・家具・家電の「ハードオフ」もあります。インターネット注文できる「メルカリ」も。要するに主婦の日頃の努力がカーボンゼロを指向しているのです。

#### マイバック・マイボトルでプラスチックを減らそう

プラスチックは原料が化石燃料。ペットボトルや包装トレーに負けない生活、そのためにマイバック・マイボトル・マイトレイを用意しましょう。4月から「プラスチック資源循環促進法」が施行されますが、使い捨て禁止対象はスプーン・フォーク・ストローなどの小物で、ペットボトルやトレーは製造販売業者の自主回収となっており、その具体化は見えていません。そもそもプラスチックのリサイクルは進んでおらず、多くのプラごみが焼却炉に回されています。禁止したはずの海外輸出も続いています(相手国が認めればよいという法律)。政府に期待せず、自ら賢い消費者になるしかありません。

#### プラ回収企業を消費者として支援しよう

花王が詰め替え容器を自主回収。キリンもペットボトルのリサイクルに挑戦中。こうしたプラ回収に力を入れる企業の商品を選択し、消費者として企業を応援しましょう。

#### 日本のフードロス世界の非難の的

日本国内の食品ロスは年間646万トン。国連世界食糧計画(WFP)の年間援助量の倍の量です。食品ロスの原因は「過剰な品揃えと賞味期限」。対策を政府や自治体に求めていくと同時に、お弁当は自分で作るが一番!かな?。



# 若林区なないろの里に7号機

## 民家の屋根借方式で実現

NPO きらきら発電は、2022年3月23日若林区なないろの里に民家の屋根を借りて太陽光パネルを設置しました。きらきらとして7号機目の太陽光発電施設の誕生です。パネル4.14kw、パワコン4kwで、年間4,800kwhの発電が見込まれます。これで年間の石油消費量1090ℓ(18ℓ缶60缶)削減できます。杉の木植林に換算すれば、1年間177本分の植樹効果が期待されます。



## 2022年も屋根を貸してくれる人探しています

きらきら発電は2022年度も屋根を貸してくれる人を探しています。屋根を貸すと、貸してくれた家庭の買電料金が下がります。年間2~4万円電気料金が減ると予測されます。そして十年後には発電装置が自分のものになります。温暖化ガスを削減し、気候危機回避にも協力できます。お話を聞こうかと思われる方は、ぜひきらきら発電事務局にご一報ください。

# きらきら発電第8回定期総会のご案内

日時=4月29日(金)午前9時半~12時

場所=若林クリニック会議室(若林区下飯田遠谷地174)

オンライン参加または会場参加を選択できます

記念講演=午前10時半~12時

みんなで取り組もう気候危機 **高橋真樹氏**



オンライン申し込み先 [h-mitobe@wa2.so-net.ne.jp](mailto:h-mitobe@wa2.so-net.ne.jp) または下QRコードから  
参加費無料 申し込みは4月22日まで



きらきら発電市民共同発電所ニュース

2022年4月号 第88号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話 070(2010)3777

HP [kirakirahatuden.com/](http://kirakirahatuden.com/)

Eメール [hirohata3777@outlook.jp](mailto:hirohata3777@outlook.jp)